

「2020 北九州SDGs未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価【市民部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs大賞	「世界を彩れTシャツ再生プロジェクト」(Tシャツスカイ大作戦+優しさを世界へ架けよう シャボン玉アーチ)	身近な衣類であるTシャツを活用し、気化熱で気温を下げることに着目した取組。さらに使用したTシャツを発展途上国に寄付する過程では、企業との連携で無添加石鹼を使用し、環境にも配慮。家庭でのゴミ削減から途上国支援を視野に入れた複合的環境保全活動を実現する。	市民の生活と国内外における環境や社会の問題を学習できている。論理的・科学的な考察が優れており、アートの要素もあり、楽しむ気持ちを感じられる。 今後も若者目線で新たな長期的取組を企画されることに期待したい。
	福岡教育大学附属小倉中学校生徒会		
ESD賞	幼児とコンポスト「たべるちゃん」の取組み	SDG4、環境教育を方針として、園児が日常の幼稚園の生活の中で、給食の果物の皮などをコンポスト化し、その堆肥で野菜を育て、食べるという循環型リサイクルを行う。家庭でも残さず食べるという意識もでき、環境問題を身近に捉える活動。	生活循環を園の活動に丁寧に取り込んでおり、日々の学習体験として評価できる。継続性、保護者との連携も効果的である。今後、地域や企業と協働するなどで更なる広がり に期待したい。
	学校法人本城学園 認定こども園 本城東幼稚園		
	大好き わたしの柳のまちプロジェクト	SDG11と17を中核に、自分が住むまちの良さとその課題を見出し、解決するための取組を実施。これにより、持続可能な社会を形成する一員としての自覚を高め、実践力を育てながらシビックプライドを醸成する。	1～6年で継続的な活動が計画的に実行されており、学校目標にSDGsが明確に位置付けられている。校区外や高校生、大学生を巻き込み、もっと広げてほしい。
	北九州市立 大里柳小学校		

「2020 北九州SDGs未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価【市民部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs賞	ユネスコスクールからSDGsへ	企業と連携して不要になった子ども服の回収し、世界の難民キャンプへの発送をしている。これにより、世界の平和や福祉への貢献について学んでいる。また、JICA研修員を招いての日本文化紹介などを通し、持続可能な国際共生社会の実現に向けての実践的態度を養う。	帰国子女・外国人生徒が多いという学校の特性を生かしている。服に関するプロジェクトから世界の貧困、人権、環境等、国際関係を視野に入れている。 発送した副が届いた国の状況について学習するなどESDの学びを発展させてほしい。
	北九州市立 菊陵中学校		
	東日本大震災・熊本地震・九州北部豪雨・令和2年7月豪雨復興支援活動 北九州市応援活動 (コロナに負けない、北九州の底力) 則松中学校生徒会 「第2回きずなプロジェクト」	震災や豪雨で被災した地域の物産をPTAと連携して販売する支援プロジェクトを実施。収益金は被災地への義援金や新型コロナウイルス対応への寄付とすることで困難にある方々との絆を深め、環境や防災への意識を高めながらシビックプライドを醸成する。	被災地への支援活動を通じて社会貢献のあり方が学習できている。意識を高めるための講演会で理解が深まり、SDGsを考える機会になっている。九州全域への貢献・連携で経済収益を生んでおり、さらに北九州への回帰や新たな活動を拓き、長期的な活動を期待したい。
	北九州市立 則松中学校生徒会		
	「MCTM(みちたま)プロジェクト」 ～M:みんなで C:地域で(の) T:大切な人を M:守ろう～北九州市SDGsクラブ連携 防災体験学習	近年頻発する自然災害に対応する意識を高める防災体験学習を実施。「命を守る」ために必要な知識をつけるため、ハザードマップの確認と避難所の確認や整備・開拓を行い、被災した他の学校や行政、NPO、企業と連携して意見交換を行う等、防災意識を高めている。	コロナ禍の中でもオンラインのパネルディスカッションを実施し、さまざまな主体と連携して防災学習ができており、実践的である。SDG11との関連性を明確にし、自然災害が多発する原因にも注目したディスカッションに広げてほしい。
	福岡県立 小倉西高等学校		

「2020 北九州SDGs未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価【市民部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs賞	小倉祇園太鼓の音楽、そして若さの力で平和の大切さを訴える！	戦争の風化防止のための企画・立案を行い、平和の大切さを伝える活動。 CO2を排出しない平和自転車リレーで「核廃絶」のメッセージを発信、イベントで小倉祇園太鼓の演奏をするなど、地域と連携しながら、平和の大切さを伝える。	平和というテーマで、北九州にとどまらず意欲的に幅広い地域を巻き込んだ活動になっている。連携を広げ、会員の拡大などを期待したい。
	421Lab.平和の駅運動プロジェクト (太鼓と平和を考える学生連絡協議会)		
奨励賞	合馬の伝統を受け継ごう ～合馬神楽、竹細工、竹札かけ～	合馬子ども神楽や、竹を使った細工などの文化体験、稲作や野菜作りなどの農業体験等、地域に根差した体験型学習を通じてシビックプライドを育む。自分の思いや感謝の気持ちを表現できる児童の育成を目指している。	一度途絶えた伝統文化を復活させ、継承者を増やしている点が素晴らしい。地域の人々との多様な関わりを持ち郷土愛が育まれている。 他の小学校との交流をもつことや、神楽が盛んな他地域と連携して行ってほしい。
	北九州市立 合馬小学校		
	健康と福祉の向上を目指す高齢者と子どもたちとのふれあいプロジェクト	SDG3やSDG11を目指し、ウォーキング、福祉体験、昔の遊びなど高齢者と児童が一緒になって健康と福祉の問題に取り組み、多世代間の交流を図り、住みよいまちづくりをしていく。	高齢者と児童の協働により、貴重な伝承ができ、地域福祉に貢献している。 コロナ禍の現状をふまえ、今後の活動工夫を期待する。また商店街や企業と参画して発展してほしい。
	槻田まちづくり協議会		